

# SWiTCH CHAT for actions

Vol.4 | 2024.02.12 実施報告書



# SWITCH CHAT for actions

Z世代が企業に期待するサステナブルアクションとは？

## SWITCH CHAT for actions Vol.4

「世代・業界を超え、札幌の未来のためにつながる」

### ● 「SWITCH CHAT for actions」の目的

- ・ 人類が自然と共存し、地球1個で暮らしていくために若者が企業に期待するアクションについて意見をまとめ、発信すること。
- ・ 普段の生活の中では感じにくい大局的な視点を持って議論をすること。
- ・ 環境・経済・社会という3つの軸を紹介し、環境への意識が強い参加者が経済・社会のあり方についても考察すること。

### ● 「SWITCH CHAT for actions Vol.4」概要

気候変動の影響により、札幌、そして日本の多くの都市の文化ともいえる、美しい雪は失われつつあります。海と日本プロジェクトの意識調査の報告から、美しい雪を守るために何ができるのか、雪を取り巻く環境について話し合いました。さらに、札幌に住む若者、観光に来る若者から「環境首都・札幌」を実現するための市長へのアイデアの提案、共創に参加する札幌企業の経営者からの取り組みやメッセージを紹介し、若者・企業・自治体が共創し取り組むサステナブルアクションを考えました。

開催日時 | 2024年2月12日（月・祝）14:00-16:00

開催形態 | ハイブリット開催

参加者合計 | 48名

会場 | 札幌文化芸術交流センター SCARTS 2階 SCARTSスタジオ（札幌市中央区北1条西1丁目）

登壇者 |



SCARTSスタジオ



秋元 克広

札幌市長



小川 秀明

札幌国際芸術祭 2024  
ディレクター



山中 康裕

北海道大学地球環境  
科学研究院 教授



佐座 マナ

SWITCH 代表理事



池田 光司

池田食品(株) 社長



亀村 建臣

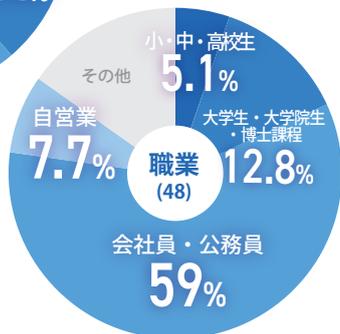
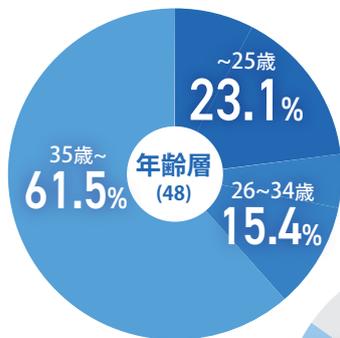
石屋製菓(株) 社長室



牧野 克彦

アイビック食品(株) 社長

### ● 参加者データ



### 所属する教育機関・団体

- ・ 東京大学
- ・ 北海道大学
- ・ 天使大学
- ・ 酪農学園大学
- ・ 香川大学 学生ESDプロジェクトSteeep
- ・ 北海道札幌月寒高等学校
- ・ 都立豊多摩高校
- ・ 聖学院高校
- ・ (公社)香川県環境保全公社
- ・ (一社)地球温暖化防止全国ネット
- ・ (一社)NAP
- ・ 北海道コカ・コーラボトリング(株)
- ・ 石屋製菓(株)
- ・ 山本浄化興業(株)
- ・ (株)藤井ビル
- ・ KPMGコンサルティング(株)
- ・ (株)フジブラ
- ・ (株)Acompany
- ・ (株)オリコム
- ・ (株)クレアン
- ・ (株)とける
- ・ 東京エレクトロン(株)
- ・ 日本キャリアグループ(株)
- ・ 豊浦町



### 【地球一つで暮らしていくために】意識調査の結果から見える課題

**佐座** 地球一つで暮らしていくために、日本財団「海と日本PROJECT」助成のもと若者を中心に意識調査を行いました。気候変動に取り組むべきだと考えている人は80%以上でしたが、実際にサステナブル化に向けた取り組みに参加していると答えた人は少数でした。

**秋元** 環境問題に対する関心は高まっているけれど、行動変容には至っていない人が多いですね。

**小川** 知識と体験は別のものです。どう行動したらいいか導いてくれる人がいないから困っているのかもしれない。

**山中** 気候変動に対して問題意識を持っていても、サステナブル化のための行動することは少ないですが、環境対策のための政策などを支持する可能性は高いということです。

### 「ゼロカーボンシティ」について / 札幌市内の若者の生の声

**秋元** 札幌市は2008年ごろから全国に先駆けて環境への取り組みを進め、2020年にゼロカーボンシティ宣言をしました。この宣言の内容を現実のものにするために「Team Sapporo-Hokkaido」を立ち上げ、産官学の連携で脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

**参加者からの質問** ゆきまつりの時にも脱炭素化のために何か取り組んでいますか？

**秋元** 廃食油や再生可能エネルギーで発電しています。また、将来的には水素をエネルギーとして活用することを目指しています。

**参加者からの質問** 気候変動に向けた宣言を発表したきっかけは？サステナブル化に向けた取り組みを広げるには？

**秋元** 札幌は雪の恩恵を大いに受けています。札幌の雪を守るために温暖化を食い止めようと考えたのが発端です。また、企業や公的機関と市民の連携がこれからの社会にとって重要となるでしょう。

### シチズンサイエンスから見えるアクション

**小川** 「LAST SNOW」をテーマに札幌の雪の将来について考えられる展示を行っています。選択可能な未来やビジョンを見せることが芸術祭の意義だと考えています。サイエンスは知識を見出すことが目的であるのに対して、常識を疑い、社会に問いを与えるのがアートの役目です。アートがあることによって科学的な問いが社会的な問いに変化していきます。

**参加者からの質問** アートと気候変動はどのように関係性を構築していくべきでしょうか？

**小川** 世界は各個人の主観でできています。アートによってその主観を可視化し、多様な視点の存在を知り対話することが重要です。

**参加者からの質問** 芸術を通して人々に知識を提供する方法は？

**小川** アートを生で体感し、対話することが大切です。アートは知識の押し付けやプロパガンダではありません。実際に体験することで、その人の主観に影響を与えることができます。

**佐座** 札幌の雪と大気の変化を市民の目線で見えるために、月寒高校と協力してシチズンサイエンスに取り組みました。雪を集めてその雪に含まれている物質を調べ、化石燃料の燃えかすである黒い汚れが混ざっている雪があり、雪が生活の影響を大きく受けることがわかりました。

### 札幌の雪と環境、若者の環境意識について

**山中** ウェルビーイングな社会に向けて気候変動やジェンダー平等、食料システムなどの社会変革の教育を作っています。人々全員がより良い社会に向けた議論に参加できるようなシステムそのものを作っていく必要があります。むしろ私たちのような世代が一步引いて、若者たちの議論をサポートするような立場でもいいのではないかと考えています。

**参加者からの質問** 大学生としてできることは？

**山中** 広い視点で社会問題を捉え、次の未来に向けて社会を共創していくことが必要だと思います。

**小川** 全世代に言えることですが、新しいものや意見に出会うこと、違いと触れ合うことで変革が生まれていくと思います。

**秋元** 外へ飛び出してみてください。違う世代と触れ合い勉強してみましょう。

## 第2部 | 「環境首都・札幌」を実現するためにできる共創とは



### 月寒高校の報告 & 若者から市長への提案



将来、札幌を住み続けられる街にするために私たちはアクションを起こす必要があります。再生可能エネルギーへの転換で脱炭素を達成すること、市民が常に環境アクションを考えることが、街を変えることに繋がります。中でも私たちは、パッケージを変える、地元のものを使う、メッセージを伝えるなどのサステナブルなお土産が、札幌市民・訪れる観光客の意識を変えると考えています。

**秋元** 提案ありがとうございます。雪まつりを含め、札幌は多くの海外観光客が訪れる街となっており、お土産や他のアクションを通じてサステナビリティに関するアピールを行っていかねばと感じました。

### 共創に参加する企業からのメッセージと企業の取り組み紹介

**池田** 豆菓子やかきんとうなどのお菓子を作っています。高校生たちはエコを特別なもの捉えていたようですが、今後は生活の中で当たり前に含まれてくるものだとかこれまでの人生を通じて感じています。会社では土に目を向け、豆を中心とした輪作体系の維持や省エネな機械導入に取り組んでいます。

**亀村** 月寒高校の生徒が言うように全てのお土産をサステナブルなものにすることが重要だと感じました。石屋製菓に入社後サステナビリティに関わる仕事を続けております。「100年先も、北海道に愛される会社へ」を長期のビジョンに掲げており、100年後も雪が多くみんなに愛され、訪れてもらえる北海道を残したいと考えています。

**牧野** 釣具・アウトドアから不動産、食品までグループで行っている会社です。幅広い食品を扱って北海道内の味をタレにして販売する事業を近年行っています。札幌に恩返しする意味で環境問題に取り組んでいて、フードロスの削減や容器の変更、海岸の清掃活動に取り組んでいます。

**参加者からの質問** 企業からのサステナビリティを消費者に伝え行動変容を促す商品はありますか？

**亀村** 特定の商品でなく、会社の事業全体でサステナブルにすることが大事だと思っています。また主力商品の白い恋人ではメカニカルリサイクルペットの包装を活用し、若い人にもサステナビリティへの取り組みを訴えていくことを考えています。

**参加者からの質問** 企業が札幌のサステナブル化に向けて取り組めることはありますか？

**池田** 環境首都さっぽろのように手をあげている街は少ない一方で、実際の行動は今まで下火でした。しかし今日のお話にあるように各社で取り組みは進んできています。こうした企業の取り組みをまとめる役割を市に期待したいです。

**秋元** 若者と企業が共創する可能性は大きいと感じています。今日のイベントのように企業と若者が商品を通じてそれぞれの思いを話す。そういった場を作っていく方がいいのではないかと感じました。

**参加者からの質問** 若者から共感を得る秘訣はなんですか？

**牧野** いいと思ったことをすぐに行動に移して背中を見せることが一番だと思います。若い人にもこうした企業がいろんな取り組みをしているんだということを知ってほしいと思います。



## 若者・企業・自治体の連携を日本全国に広げるためにできること

**佐座** 世界中で若者が人口の多くを占めるようになっており、若者の声を積極的に取り入れようという流れができつつあります。今後の若者との共創について参加者の皆様から聞いてみましょう。

**参加者からの質問** 環境教育に関して市としてしようとしていることはありますか？

**秋元** こどものうちから自然に触れることは環境問題に向けた取り組みとして重要だと感じます。札幌は人口規模の割に自然が多い都市なのでこの環境を守りたいと考えています。

**参加者からの質問** 環境への意識づけや街全体での方針で考えていることはありますか？

**牧野** 北海道の中でどんなサステナブル化に取り組んでいるか、その背景を知ってもらうことで付加価値をつけていくことが大事だと感じます。

**亀村** 主力商品である白い恋人からどの観点で見てもサステナブルな商品にしていきたいです。

**池田** いろんな企業が当たり前のように環境問題に取り組み始めています。物語作りを行っていくことが今後重要だと私も感じています。

**秋元** 色々な世代の人と話し合っていく中でストーリーを作って広めていくことが重要だと思います。



## ブースでの意識調査の参加呼びかけ

同じ会場内では日本財団「海と日本プロジェクト」のブースを設け、パネルを使ってプロジェクトの企画を来場者に広く周知しました。また、参加者へ「Z世代が企業に求めるサステナブルアクション」意識調査への参画を広く呼びかけました。



